

公 研 会 法 究

日時 2月20日（金）14時00分～

場所 法学部棟3階 321研究会室
（Google Meetを使用したハイブリッド形式にて実施）

報告者および報告内容

曾我部 真裕 氏（京都大学大学院法学研究科 教授）

「日米同性カップル在留資格訴訟と
マククリーン法理」

本研究会に参加を希望される方は、**2月13日(金)**までに
教育研究支援センター(koho@juris.hokudai.ac.jp) (担当・山下)まで
ご連絡をお願いします。

その際、**対面／オンラインのどちらで参加希望か**をお知らせください。
参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、
GoogleMeet リンクURLをご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）



刑事法研究会



日時： 2月21日(土)14時～

場所： W203 室(ハイブリッド開催)

【博士論文構想報告報告】

『単独正犯における 正犯概念の実質について』

報告者： 千田峻平氏(北海道大学 D1)

【研究報告】

『犯罪収益の剥奪の拡大と人権保障について —欧州における動向を参考に—』(仮題)

報告者： 横濱和弥氏(北海道大学准教授)

✧ 刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様 ✧

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)宛、

研究会前日までに、メールにてご連絡ください♪



北海道大学
法学部・法学研究科・法科大学院
School of Law Hokkaido University



刑事法研究会



日時: 2月28日(土) 14時～

場所: W203室(ハイブリッド開催)

【研究報告】

入管収容における刑法 218 条(保護責任者遺棄等)の適用可能性 —保護責任者としての主体適格と要保護者(「病者等」)該当性を中心に
／収容下死亡事案を手がかりに

報告者: 左 婁雨氏(北海道大学助教)

【研究報告】

死因認定における専門家証言の法的問題
—大阪高裁令和6年11月28日(今西事件控訴審判決)判例時報2630号5頁以下を素材として—

報告者: 上田信太郎氏(北海道大学教授)

✧ 刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様 ✧

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、
教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)宛、

研究会前日までに、メールにてご連絡ください♪



北海道大学
法学部・法学研究科・法科大学院
School of Law Hokkaido University

社会保障法研究会

日 時：2月28日(土)14時～18時予定

場 所：法学研究棟 403 室 (ハイブリッド方式)

①【判例報告】福島豪氏（関西大学）

「支給量の決定に際しての介護者の状況の考慮

—千葉地判令 5・10・31 賃社 1884 号 44 頁の検討—」

②【判例報告】川久保寛（北海道大学）

「ひとり親に対する障害基礎年金と児童扶養手当の

併給調整（最三小令 7・6・10 裁判所時報 1865 号

16 頁）」

☆次回の研究会は、4月11日に予定しています。

☆会員以外で参加ご希望の方は、遅くとも前日までに幹事までご連絡ください

（原則、対面参加です）。

幹事(川久保) dnm69686@elms.hokudai.ac.jp



北海道大学

法学部・法学研究科・法科大学院

School of Law Hokkaido University